

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【1枚目】

事業コード	32203301	
事務事業名	スポーツ少年団育成事業	
予算書の事業名	17.スポーツ少年団育成事業	
事業期間	開始年度	昭和51年度位
	終了年度	当面継続
	業務分類	5. ソフト事業
実施方法	<input type="radio"/> 1. 指定管理者代行 <input type="radio"/> 2. アウトソーシング <input checked="" type="radio"/> 3. 負担金・補助金 <input checked="" type="radio"/> 4. 市直営	

部・課・係名等	コード1	08030300
部名等	教育委員会事務局	
課名等	生涯学習・スポーツ課	
係名等	スポーツ係	
記入者氏名	片山伸二	
電話番号	0765-23-1046	

政策体系上の位置付け	コード2	322033
政策の柱	第3章 人・文化を育むまち	
政策名	第2節 地域に根ざした文化とスポーツの振興	
施策名	2. 生涯スポーツ社会の推進	
区分	スポーツ指導	
基本事業名	スポーツ少年団、ジュニアクラブの育成支援	

予算科目	コード3	001100601
会計	一般会計	
款	10. 教育費	
項	6. 保健体育費	
目	1. 保健体育総務費	

◆事業概要 (どのような事業か)				実績		計画				
スポーツを通じて児童の交流を深めることを目的に魚津市スポーツ少年団、同指導者協議会の活動を補助する				単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
対象	(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など) 児童および指導者(指導者協議会)	対象指標	① 市の児童数	人	2,410	2,391	2,385	2,395	2,361	
	② 指導者数		人	184	203	190	190	190		
	③									
手段	<平成21年度の主な活動内容> ア. スポーツ少年団本部及び指導者協議会の活動及び事業の補助 補助金交付：本部及び指導者協議会、国内交流事業(薩摩川内市へ少年団員35名、指導者7名の派遣 期間H21.8.20~25 5泊6日) イ. スポーツ大会の委託 少年野球リーグ戦、水泳、卓球、サッカー、ラグビー、バレーボール、体育大会 *平成22年度の変更点 魚津市が日独スポーツ少年団同時交流の担当市となる。また、国内交流事業は薩摩川内市を受入れ。	活動指標	① 団員数	人	919	983	960	960	960	
	② 団数		団	39	40	41	42	43		
意図	(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) スポーツを通じて心身ともに健康な児童の増加	成果指標	① 加入率(団員数/児童数)	%	38.10	41.11	40.25	40.08	40.66	
	②									
	③									
その結果	<施策の目指すがた> 市民の誰もが気軽にスポーツを楽しみ、健やかに生きがいを持って暮らす生涯スポーツの推進	↑成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入								
◆この事務事業開始のきっかけ(何年頃)からどのようなきっかけで始まったか) 「スポーツによる児童の健全育成」を目的として、教育委員会が主体となって設立した。				財源内訳	(千円)	0	0	0	0	0
				(1)国・県支出金	(千円)	0	0	0	0	0
				(2)地方債	(千円)	0	0	0	0	0
				(3)その他(使用料・手数料等)	(千円)	0	0	0	0	0
				(4)一般財源	(千円)	905	1,000	1,040	1,040	1,000
				A. 予算(決算)額(①~④の合計)	(千円)	905	1,000	1,040	1,040	1,000
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など)				①事務事業に携わる正規職員数	(人)	1	1	1	1	1
ア. 設立当初から教育委員会に事務局を置き活動してきたが、平成16年度からは体育協会へ事務局を移した				②事務事業の年間所要時間	(時間)	20	20	20	20	20
イ. 児童数の減少による団員数及び団数の減少				B. 人件費(②×人件費単価/千円)	(千円)	84	84	84	84	84
ウ. ジュニアスポーツクラブ等の増加				事務事業に係る総費用(A+B)	(千円)	989	1,084	1,124	1,124	1,084
				(参考)人件費単価	(円@時間)	4,205	4,205	4,205	4,205	4,205
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)				◆県内他市の実施状況	(把握している内容又は把握していない理由の記入欄)					
ア. 地域住民より児童数の減少に対する懸念				<input checked="" type="radio"/> 把握している <input type="radio"/> 把握していない	県内各市の種目、団員数、団数、指導者数など					
イ. 父兄から女子児童が加入できるスポーツ種目を行う少年団の設立要望										
ウ. 教育関係者から児童の体力低下に対する懸念										

